

■大月 民造（おおつき たみぞう）

明治33年1月1日～平成8年11月21日（1900～1996）

村会議員を3期務めた農家、大月貞三郎家の長男として誕生。地元尋常高等学校を経て大正12年（1923）3月岡山県立農業講習所を卒業。同14年（1925）4月広島県農業技手として就職し、県内の各地方事務所を歴任。昭和21年（1946）広島県経済課長に昇任したが、同23年（1948）3月広島県職員を退職し帰郷。同年5月有漢村農業協同組合理事に当選、組合長理事に就任。同30年（1955）2月、有漢村長選挙に立候補当選し村長に就任。

同31年（1956）4月有漢村、上有漢村が合併し、有漢町長選に立候補当選により、初代町長に就任。以後5期連続当選、通算20年間、同51年4月まで在任した。

この間に同35年（1960）4月岡山県有線放送電話協会会長就任。同39年（1964）7月有漢町森林組合組合長理事に就任。

同44年（1969）4月有漢町社会福祉協議会会長理事に就任、同49年（1974）2月上房郡町村会会長に就任した。同48年（1973）勲五等瑞宝章受章、平成4年（1992）地方自治功勞により自治大臣表彰。同8年（1996）4月有漢町名誉町民第1号（現・名誉高梁市民）として掲載。行年96歳で死去した。